

Fuji Champion Race Series Round 3

AE111/ROADSTER

Round 3



シーズン後半戦に入った第3戦、予選トップタイムはAE111 78 トウワケミカル高田μトレノ 眞賀直文の2'08.076。フロントローには46 Tライズ太建工ED明興レビン 溝口司が並ぶ。NA6トップは24 コーンズμロードスター 田辺良輔 2'18.137のタイム。このクラスも予選ではセミウェット、決勝はドライ路面でのスタートとなった。スタートの混戦を78眞賀が上手く抜けてトップをキープ、2番手以降が各コーナーでバトル。NA6クラスは毎度の事ながらトップ争いが熾烈。レース中盤になりAE111は78眞賀、91 MAS・DL・IDIレビン 窪田範明の順で周囲を重ねてゆく。レース終盤にはそこに18塩岡が2番手争いに加わるが78眞賀、91窪田の順でチェッカーを受けた。NA6は周回ごとにトップが入れ代わる激しい展開、10週のレースを制したのは昨シーズンのチャンピオン1 コーンズIDIロードスター 雨宮恵司、2位には予選8番手から追いつけた11 ガレージワコーズμNA6 八田新一、3位は43 アクレC-iロードスター 大井正伸、ますますシリーズチャンピオンの行方がわからなくなってきた。最終戦を残しここでシリーズチャンピオンを決めた78眞賀は「いつ背後に來られるかとヒヤヒヤしていましたが何とか逃げ切れました。連勝できて嬉しいです」と話し、NA6 1 雨宮は「今回はオーバーホールしたエンジンで臨みました。すごく速くなったわけではなかったので大変でしたが、何とか優勝できて嬉しいです。でも八田さんやっぱ速いですねー」とコメント

RESULT リザルト AE111

Rank No.	Name
1	78 眞賀 直文
2	91 窪田 範明
3	31 安藤 さとる
4	19 加田 充
5	18 塩岡 雅敏
6	32 松川 智泰

RESULT リザルト ROADSTER

Rank No.	Name
1	1 雨宮 恵司
2	11 八田 新一
3	43 大井 正伸
4	2 大野 俊哉
5	24 田辺 良輔
6	8 福永 健二

N1400/N1000/DEMIO(N1)

Round 3



毎戦接戦となるこのクラス、N1400ではここまでのポイント上位5台がチャンピオンの権利を持ち、N1000は41 マルチクラフトSCP10プラクト 佐藤英二が2連勝でトップ。DEMIO(N1)は103 R.P.M/H が連勝中。予選でポールポジションを決めたのはN1400 MAS・DL・IDI・EP82 藤井優2'11.590。2番手には 25 すぐるwith東車協青年部EP82 斎藤和実。N1000クラストップは51 アライメント浜松ヴィッツ 清水悠祐 2'20.600。DEMIは103 R.P.M/H。午前中の予選時はまだセミウェット状態だったが午後の決勝スタート時の13:05には雲の間合から太陽も少し顔を出す天候になってきた。スタートでは92藤井がトップを押さえ1コーナーへ消えて行く。その後ろでは激しい2番手争いが終始続きその隙に92藤井は差を広げてゆく、N1000では予選5番手から3周目にはトップを奪ったポイントリーダーの41佐藤がトップに立つ。このカテゴリーでは珍しく中盤からこのままトップは逃げ切り、背後で2番手争いが最後まで接戦のレースとなった。優勝はN1400 92藤井、2位にはポイントリーダーの21 スノコμDLマリンAID82 大竹直、N1000 優勝は41佐藤、2位に51清水、DemioはR.P.M/Hとなった。92藤井は「前回初めてレースに参戦しましたが決勝ではトラブルで走れませんでした。周りの皆様に教えていただいた結果勝てることができてとても嬉しい」と話し、41佐藤は「予選は古いタイヤで行ったらタイムが出なかった。決勝では暑くなってきたので後半タイヤの使い方に気を使いながら走りました」103R.P.M/Hは「今回マシンが一台しか間に合わなかった。次回は出します」

RESULT リザルト DEMIO(N1)

Rank No.	Name
1	103 R.P.M/H

RESULT リザルト N1400

Rank No.	Name
1	92 藤井 優
2	21 大竹 直
3	78 大沢 雄哉
4	13 北川 信弘
5	26 斎藤 和実
6	3 山田 太輔

RESULT リザルト N1000

Rank No.	Name
1	41 佐藤 英二
2	51 清水 悠祐
3	28 川井 秀晃
4	27 山崎 じん
5	54 垣生 彬
6	10 小西 省一

AE86/MR2/NA1600/SILVIA

Round 3



今回は4クラスが出走のこのカテゴリー、予選トップはNA1600 37 四季の森歯科IDIウィンちゃん 秋元 優範 1'58.414、2番手タイムはシルビアトップの11 REXCELまつおかシルビア 大山雅樹2'00.937。AE86クラストップは240 ガレーシアネックス・μ・レビン 山口崇 2'04.226。MR2は25 チェルシーRS ダイエーMR2 藤永雅彦 2'08.327となった。決勝ではクラスごとにスターティンググリッドは間隔を開けてあるが、一周終わってストレートに戻ってきた時には37秋元がトップ、12なかむらと11大山が2番手争い。AE86クラスはトップ争いが終始激しく展開し、12週のレースを制したのはNA1600 37秋元。シルビアは11大山、MR2 25藤永、最後まで激しいトップ争いのAE86は40 AS柳本アクレSPM86レビン 柳本文彦が優勝。NA1600 37秋元は「スタート少し失敗したのが悔しかったですが、最終戦勝ったほうがシリーズなので、なんとか取りたいです」シルビア11 大山は「スタートが上手くいってNA1600のポジションに行かれたのでミスの無いように走りました」MR2 藤永「エンジンが壊れそうになってきたので大事に走りきりました」AE86 柳本は「バトルの相手が山口君だったので信頼して楽しく走れました。最終戦で勝ったモン勝ちのチャンピオンが決まるので楽しみにしてください」と話していた。

RESULT リザルト AE86

Rank No.	Name
1	40 柳本文彦
2	240 山口崇
3	16 朝倉潤司
4	8 中村きみひで
5	41 中村徹

RESULT リザルト NA1600

Rank No.	Name
1	37 秋元優範
2	12 なかむらともしき
3	64 矢島篤
4	31 高橋賢一

RESULT リザルト SILVIA

Rank No.	Name
1	11 大山雅樹
2	79 西田広一郎

RESULT リザルト MR2

Rank No.	Name
1	25 藤永雅彦

ROADSTER CUP NA6/NA8/NB8

Round 3



今シーズンのこのクラスは第1・2戦とも優勝が同じドライバーでシリーズチャンピオンに王手をかけてのぞむ第3戦。日曜日のワンディとなるこのレース、昨日とは打って変わって天候に恵まれた朝一番の予選でトップタイムを出したのは1 大山ベリアクレMotyNA8 山形卓の2.07.526、フロントローに並ぶのは同じNA8 88 なおしおるぐ大山アクレNA8 山田健介、3番手ポジションにはNB8のトップ 11 JoyアクレMotys☆NB8 戸田裕一。その隣にはNA6クラストップのJoyアクレMotys☆NA6 山川譲とクラス入り乱れてのグリッド順になった。8週の決勝では序盤こそ接戦が続いたが、後半になると上位はNA8 山形の後ろに2位に上がったNB8 11戸田、NA8 88山田の順で等間隔になり周回を重ねてそのままチェッカーを受けた。NA6は最後までトップ争いが続き、ここまでのランキングトップの7 大山ベリアクレMotyNA6茂木文明とコンマ差で競り合い、先にチェッカーを受けたのは23山川だった。レース終了後NA8 1 山形は「初シリーズチャンピオンでとても嬉しいこの季節ならNA8は強いのでどうしても今日勝って総合を取りたかった」NB8 11戸田は「最終戦はこちらが有利なので、レコード更新と総合優勝を狙いたいです」と話し、接戦を制したNA6 23山川は「壮絶でした!」と話していた。

RESULT リザルト NA6

Rank No.	Name
1	23 山川 穰
2	7 茂木 文明
3	5 入江 直
4	999 鳥居 武史
5	27 野木 強

RESULT リザルト NA8

Rank No.	Name
1	1 山形 卓
2	88 山田 健介
3	81 松波 太郎
4	9 横須賀 純一
5	345 斎藤 豪也
6	17 小林 史統

RESULT リザルト NB8

Rank No.	Name
1	11 戸田 裕一
2	78 赤石沢 清人
3	3 羽入 大輔
4	33 田辺 浩一
5	91 神谷 誠
6	41 後藤 満

ROADSTER CUP NC/DEMIO RACE/8Beat

Round 3

Audi



RESULT リザルト 8Beat 2R

Rank No.	Name
1	55 たしろじゅん
2	99 古田 聡

こちらの日曜日にワンディで予選・決勝と行われたシリーズ3戦目。予選トップタイムは8Beat JP-2R 55 AUTOFACTORY86 たしろじゅん2'00.988でコースレコード更新。フロントローに並ぶのはJP-2S 05 SPVレーシング86 稲田昌文。ロードスターNCクラストップはNCオープン 2連勝中の0 モティーズベリケンオートNC 小原健一が2'08.477とこちらもコースレコード更新してトップからのスタート。デミオクラスはやはり2連勝の75 145デミオ改withSKR 西山隆が2'20.448がトップタイム。決勝では55たしろと05稲田が終始バトルを繰り広げ、8週のレースはコンマ5秒差で55たしろが先にチェッカーを受けた。ロードスターNCは連勝の0小原に昨シーズンチャンピオン64 Joy☆アクレMoty'sNC芝本 淳も必死に追い上げるが0小原が逃げ切った。デミオは75西山が連勝。レース後仙台から参戦の0小原は「富士でのセッティングを出せないながらも何とか走りきりました。もう少しここに合うようにマシンを煮詰めたい」と話し、デミオ 75西山は「スタート混乱で大変でした。でもデミオで接戦が出来たので楽しいレースでした」と話していた



RESULT リザルト RSC NC-0

Rank No.	Name
1	0 小原 健一
2	64 芝本 淳
3	16 横山 護
4	21 新井 敏克
5	80 染谷 浩一
6	25 橋川 学



RESULT リザルト RSC NC-C

Rank No.	Name
1	71 登坂 紀
2	18 らんまん
3	22 中桐 孝治



RESULT リザルト DEMIO RACE

Rank No.	Name
1	75 西山 隆
2	34 常盤 岳史
3	9 安居 政則
4	5 里見 景一
5	51 戸田 和彦
6	70 古閑 宏



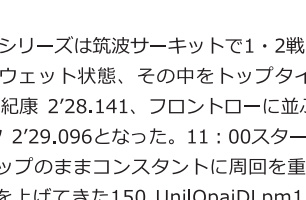
RESULT リザルト 8Beat 2S

Rank No.	Name
1	05 稲田 昌文
2	08 AKKY
3	85 八講 めぐみ
4	49 清 充秀
5	2 坂本 弘明
6	07 伊藤 毅



RESULT リザルト 8Beat 3S

Rank No.	Name
1	13 市川 忠康
2	6 坂本 猛彦
3	36 今堀 隆三郎
4	1 木幡 修一郎



TMSC Vitz Clubman Race Kanto Series Round 3



全3戦で行われるTMSC Vitz関東シリーズは筑波サーキットで1・2戦を終え、今回が最終戦となっている。朝の予選では路面がセミウェット状態、その中でトップタイムでポールポジションを獲得したのはClass-2 222 Vitz 奈良紀康 2'28.141、フロントローに並ぶのはClass-1トップとなる 83 中山プロミュー岸自動車ヴィッツ 2'29.096となった。11:00スタートの決勝では雨も上がり路面も乾きだした中でのスタート。トップのままコンスタントに周回を重ねる222奈良の後ろでは3番手からオープニングラップで順位を上げてきた150 UnilOpaiDLpm150 赤堀康裕が追う。後半では上位2台は等間隔になってきたが、その後ろの3番手争いが激しくなってきた。8週のレースを制したのはClass2 222奈良、2位にはClass1 150赤堀、3位にClass1 83しんや。SCP10クラストップは18 スーパーヴィッツ 鈴木克彦という結果となった。レース後222奈良は「やはり上り坂ではこちらのクラスは遅くなってしまうので、最後までハラハラしていました。なんとか逃げ切りよかったです」と話していた



RESULT リザルト TMSC Vitz

Rank	No.	Class C/Rank	Name
1	222	C-2 1	奈良 紀康
2	150	C-1 1	赤堀 康裕
3	83	C-1 2	しんやひろゆき
4	758	C-1 3	高橋 一成
6	68	C-2 2	岡本 光一
9	814	C-2 3	小松 正浩
11	18	SCP10 1	鈴木 克彦
12	19	SCP10 2	大久保 義直

Review

Inter Proto Series Round 2 Review

Inter Proto Series

Gentleman Round 2



インタープロトシリーズ第2戦の今回、ジェントルマンクラスは土曜日に予選、決勝1、日曜日に決勝2というスケジュールで行われた。レース1のグリッドを決める予選でトップタイムを出したのは4 RSS広島トヨペットIPS AKIRA 1'48.270のタイム。フロントローに並ぶのは19 Pasarレーシングカー Yuke Taniguchi 1'48.283となった。土曜日の15:25、15周or35分のレースが始まり序盤から激しいトップ争い、4AKIRAと19Yuke、そこに3INGING MOTORSPORTのMOTOR MOUSEが僅差で迫ってくる。19Yukeがマシントラブルでピットに入り、4AKIRAと3MOTAR MOUSEの一騎打ちとなった後半、ラスト3周で3MOTOR MOUSEが前に出てそのままトップでチェッカーを受けた。レース後3MOTOR MOUSEは「ものすごく楽しかった！勝てて嬉しい」とコメント。翌日曜日のレース2はポールポジションに3 MOTOR MOUSE 隣には4AKIRAが並ぶ。開始から3周目には3番手スタートの37畠中修がトップに立つが、3台のトップ争いの中、7番手グリッドからファステストラップを更新しながら追い上げてきた19Yuke Taniguchiが6周目にトップを奪う。その後徐々に差を広げていくように見えたが、ラスト2周では4AKIRAも背後につけ激しいトップ争い、11周のレースはコンマ差で19Yukeが優勝した。「頑張りました！昨日はマシントラブルで悔しい思いをし、今日も途中からトラブルが出たので、早くレースが終わって欲しいと思いながら走っていました」と19Yukeはコメントした。

Race1



RESULT リザルト Race-1

Rank No.	Name
1	3 MOTOR MOUSE
2	4 AKIRA
3	37 畠中 修
4	16 渡邊 久和
5	36 森川 誠一

Race2



RESULT リザルト Race-2

Rank No.	Name
1	19 Yuke Taniguchi
2	4 AKIRA
3	3 MOTOR MOUSE
4	37 畠中 修
5	16 渡邊 久和
6	36 森川 誠一
7	95 篠浦 文彦

Pro Round 2



インタープロトProクラスは日曜午後に1・2レースが続けて行われた。土曜日朝の予選でポールポジションを決めたのは4 RSS広島トヨペットIPS 平川亮 1'45.743のタイム。隣に並ぶのは16 ララパーレザ Andrea Caldarelli となった。決勝では4平川に4番手スタートの37 KeePer IPS-01 中山雄一が背後につきレース後半ではコンマ差のバトル、8周の第1レースは4平川が逃げ切りトップでチェッカーを受けた。続いての第2レースでは霧雨の落ちる中、開始直後から4平川と37中山の激しい戦い。各所で2台が並びかけ、周回ごとにトップが変わるといった見ごたえのあるレースを繰り広げていた。10周のレースをコンマ3秒差で制したのは4平川だった。レース後平川は「中山君との攻防戦、とても大変でした。だんだんマシンも滑ってくるし、どちらが前でもおかしくなかった。運よく勝てたという感じです。次もまた、頑張ります！」と話していた

Race1



RESULT リザルト Race-1

Rank No.	Name
1	4 平川 亮
2	37 中山 雄一
3	95 荒 聖治
4	3 山野 直也
5	36 里山 勉
6	19 黒澤 琢弥

Race2



RESULT リザルト Race-2

Rank No.	Name
1	4 平川 亮
2	37 中山 雄一
3	95 荒 聖治
4	3 山野 直也
5	36 里山 勉
6	19 黒澤 琢弥